

# 京都府 建仁寺 勅使門（重要文化財） 裏甲材 室町時代



京都五山の一つであり、建仁2（1202）年の創建です。しかし、度重なる兵火によって焼失し、創建時の建物は残っていません。

勅使門は、平重盛の館から移築された説と、慶長4（1599）年に安芸国の安国寺から移築された説との2つがあります。

裏甲材…軒先の茅負の上にのせる化粧板のこと。  
ヒノキ材を用いており、仕上げ加工時の手斧の痕跡が残されています。

